

(仮称)交野市立交野みらい学園施設機械警備業務委託 仕様書

1. 警備委託物件

(仮称)交野市立交野みらい学園施設機械警備業務委託
交野市私部1丁目地内

2. 警備業務の目的

火災、盗難その他悪質な行為の防止及び早期発見を主眼として、学校施設の保全及び安全の確保を目的とする。

3. 警備業務の範囲

(仮称)交野市立交野みらい学園の校舎及び屋内運動場

4. 警備方法

機械警備

5. 警備要領

侵入者感知器を別紙図面のとおり委託物件に設置し、警報盤に表示している項目（火災報知器、受水槽警報器、漏電警報器等）と連動させた警備システムによる遠隔監視を行う。異状が発生した場合は、迅速に対処するとともに、予め指定された施設責任者への連絡等必要な措置を講ずる。

また、侵入者感知器は、侵入ルート及び場所が特定できるように、受注者の警備センターにて、どの感知器から発報があったか判るようにすること。

6. 警備時間

別紙1によること。

7. 指示系統及び報告

本業務の受注者は、異常発生等の場合は施設管理担当者へ報告を行い、警備日誌、警備起動解除記録（理由を記したもの）及び巡回報告書（異状発報による現場急行があった場合）を、翌月の月初めに速やかに学校及び施設管理担当者に各1部提出すること。

また、必要に応じて警備業務を総括する社員による学校訪問を行い、学校管理職員との面会及び意見交換を実施し、毎月の面談記録を施設管理担当者に報告するなど、警備業務に反映させること。

8. 警備業務に係る設備工事

- (1) 警備業務に係る設備工事については「(仮称)交野市立交野みらい学園施設一体型小中一貫校整備事業」（事業期間：令和3年12月22日から6年12月20日まで）の新築工事に合わせて行うこととし、本業務開始に係る機材の準備、設備工事及びその他付帯する一切の工事等は全て受注者が行うこと。
- (2) 機械警備期間終了後、撤去期間内において、機材取り外し工事その他付帯する工事等は全て受注者が行うこと。なお、機材撤去後は美観を損なわないよう原状回復に務めること。
- (3) 設備工事に係る詳細については、別紙2によること。

- (4) 機械警備開始後においても、発注者が協議を申し入れた箇所については、受注者の負担で手直しを行うこと。
- (5) 学校施設の改修工事等に伴い機械警備機器の脱着等が必要になった場合は、機械警備の脱着等は受注者が行い、脱着等にかかる費用はその工事業者に請求すること。

9. 事前調査及び打合せ

「(仮称)交野市立交野みらい学園施設一体型小中一貫校整備事業」の受注者と施工や工程等について入念な事前調査及び打合せを実施すること。

10. 設備機器取扱説明

本業務における工事の竣工検査終了後、速やかに学校にてまなび舎整備課向けに取扱い説明会を開催すること。また令和7年3月下旬から令和7年4月上旬(春期休暇中)に学校関係者向けに取扱い説明会を開催すること。

※取扱い説明会の開催日時を事前に施設管理担当者と調整すること。

11. 期間

準備・設備工事期間	契約締結日から令和6年12月19日
機械警備期間	令和6年12月20日から令和11年7月31日まで
撤去期間	令和11年8月1日から令和11年8月17日まで

12. 準備・工事期間

設備工事については令和6年11月29日までに完了することとし、機械警備開始までに取扱説明等を実施するものとする。

※警備実施が令和6年12月20日から行えない場合には、受注者が設置完了までの間、有人による夜間警備を行うこと。

13. 機械警備起動・解除機器

施設管理担当者と打合わせの上、最終退出口の内側・外壁面等に機械警備起動・解除機器を設置すること。起動・解除を鍵もしくはカードで行う場合は、20個(枚)用意すること。

14. 警報受信時の対応

- (1) 25分以内に現場に急行できる地点に待機所を設け、異状発報があった場合は現場に急行し異常確認とその対処にあたること。

- (2) 確認後、受注者とは別の者が対処に当たる場合は、その者が到着・対処完了するまで滞在し鍵や警備システムのセット・解除等の対応にあたること(以下「オンコール対応」という。)。オンコール対応については、単価契約とし、年間予定数量は2回とする。

※予定数量は、過去の実績に基づいて算定したものであり、契約期間内において現実に対応する数量を保証するものではなく、実際の数量が上回り、又は下回っても契約単価は変わらないものとする。

15. 注意事項

- (1) 事故の発生又はその恐れのある場合は、適切な措置を講じた後、各施設管理者へ連絡すること。

- (2) 警備業務中に知り得た秘密事項は、一切他に漏らさないこと。
- (3) 緊急時の連絡先
各施設の責任者又は予め指定された者。
- (4) 機械警備実施施設であることを示すステッカー等を協議に基づき掲示すること。
- (5) 受託者は、本業務を履行するに当たり、受託者の故意又は過失により、本市又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償する義務を負うものとする。
ただし、受託者の責に帰することができない事由によるときはこの限りではない。
※対物賠償については、一事故十億円とする。ただし、対人、対物合計で一事故十億円を限度とする。
- (6) この仕様に定めのない事項については、その都度施設管理担当者と協議のうえ取り決めるものとする。

16. 提出書類

交野市 HP の「役務委託業務提出書類一覧」による

17. 支払方法

- (1) 機械警備に係る支払は、設備工事、機械警備、その他全てを含めた費用を、令和 7 年 1 月 1 日から令和 11 年 7 月 31 日までの期間の 55 ヶ月で除した金額について、当該業務を完了した翌月に完了報告及び請求を行うものとする。第 1 回目については、令和 6 年 12 月 20 日から令和 6 年 12 月 31 日までの期間を含んだ 43 日間の業務完了報告を行い、請求を行うものとする。
- (2) 発注者は、履行完了確認後、適正な請求書を受理した日から起算して 30 日以内に支払うものとする。
- (3) オンコール対応に係る支払は、履行完了確認後、適正な請求書を受理した日から起算して 30 日以内に支払うものとする。

警備時間

①令和 6 年 12 月 20 日から令和 7 年 3 月 31 日
(開校前)

平日	0 時 00 分から 9 時 00 分 17 時 30 分から 24 時 00 分
土日祝日	0 時 00 分から 24 時 00 分
年末年始 (12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで)	0 時 00 分から 24 時 00 分

②令和 7 年 4 月 1 日から令和 11 年 7 月 31 日
(開校後)

年末年始以外	0 時 00 分から 7 時 00 分 21 時 15 分から 24 時 00 分
年末年始 (12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで)	0 時 00 分から 24 時 00 分

※学校行事の都合等により、時間を変更することがある。

※機械警備については、原則として上記時間帯とするが、機械監視装置が解除されるまでの間は警備業務時間とする。

設備工事

○学校施設警報装置との連動

- a) 自動火災報知器、警報盤（給水設備、屋内消火栓設備、漏電警報、ガス漏れ警報等）から接点取り出し。
- b) 漏電警報については電気工作物保安管理業務受注者も遠隔監視しているため、連携すること。

○機械警備制御盤電源について

- a) 専用回路とし、機械警備制御盤と同一階の最寄りの分電盤より取り出しすること。
- b) 指示するブレーカを使用すること。

○配管・配線方法

- a) 天井内ころがし配線を原則とし、天井下地の上に通線すること。
点検口回り等、配線を傷つける恐れのある部分については接触しないよう造営材に結束すること。天井ボードの無い部分については、鋼管・モール等にて保護すること。
- b) 他の配線、ガス管、水道管に接触しないように施工すること。
- c) 配線には丸札により行き先、配線種・サイズを明記すること。
- d) 100V以上の機器、配管経路は接地すること。
- e) 施工にあたっては、美観を損なわないようにすること。

○契約期間終了後の仕舞

- a) 配線は残置を妨げない。
- b) 機器撤去後は美観を損ねないように感知器跡などにプレート等を取り付け、機械警備と表示すること。
- c) 機械警備起動・解除機の鍵もしくはカードは受注者の責任において処分すること。

○機器承諾書及び施工承諾書

- a) 機器承諾書及び施工承諾書を提出し、施設管理担当者の承諾を得てから施工すること。

○竣工図面の提出

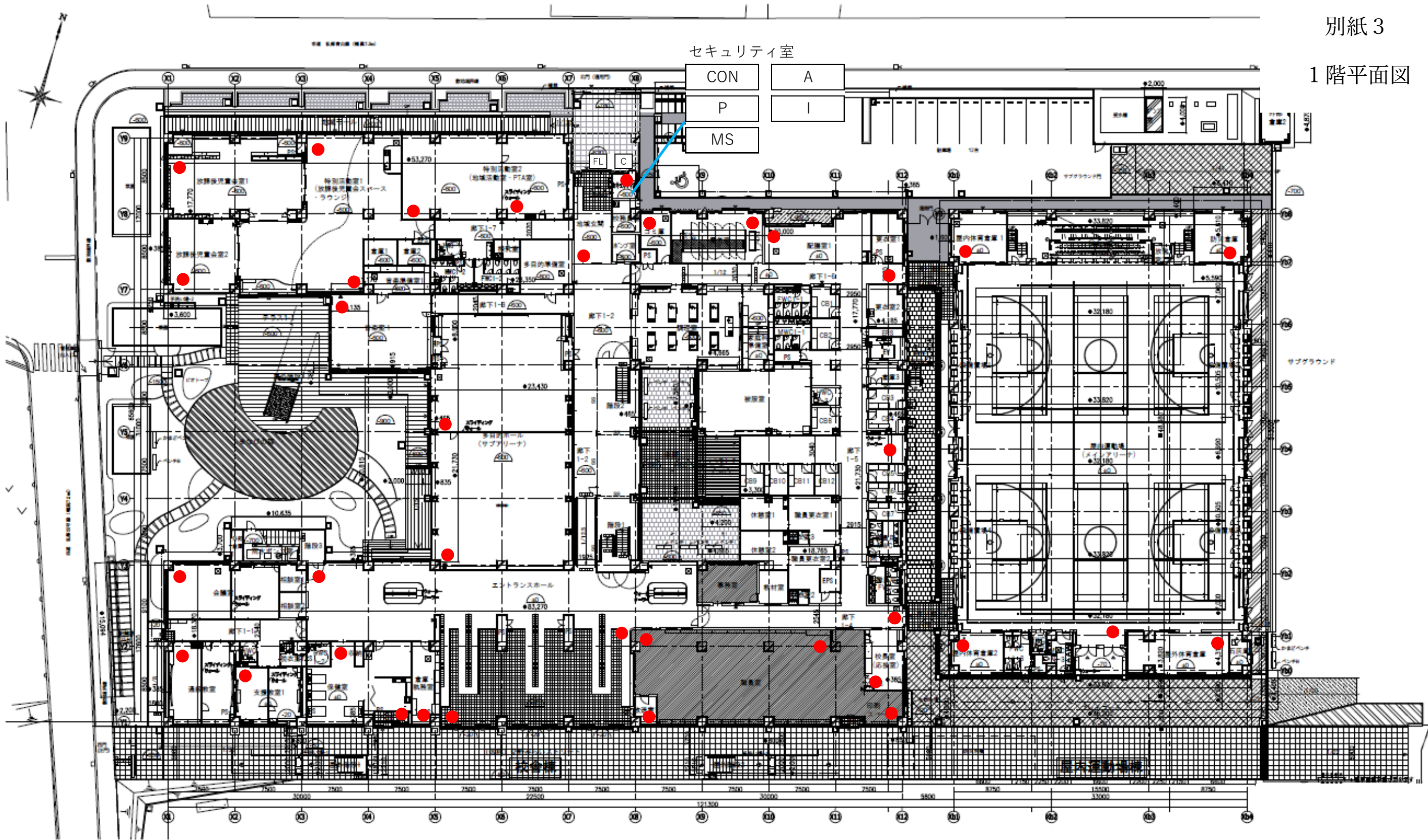
- a) 配線・機器設置工事終了後、竣工図を提出すること（A4ファイル綴じ2部）。なお受注者は各学校の平面図、配置図のCADデータを借用できる。

○工事写真（CD等記録媒体共）

- a) 配線・機器設置工事施工前及び施工後の写真（デジカメ可）を撮影し、工事終了後、台帳に整理し、すみやかに提出すること（1部、CD等記録媒体共）。

○その他

- a) 工事期間と工事内容は、施設管理担当者及び「(仮称)交野市立交野みらい学園施設一体型小中一貫校整備事業」の受注者と十分打ち合わせのこと。
（機器設置場所、資材置場、通路、駐車場、停電、作業時間等）
- b) 工事期間中は安全対策に十分留意すること。
- c) 受注者は関係職員に対し取り扱い方法等について説明を行うこと。
- d) 本契約期間中、一般的な使用の故障に伴う警備装置の補修・交換は受注者の負担で行うものとする。



凡例



・・・ パッシブセンサー等
役割：人体の発する熱で侵入者を感知するセンサー

CON

・・・ コントローラー等
役割：システムの操作を行う装置

A

・・・ 無線アダプター等
役割：携帯電話網等を用いて通信を二重化する無線通信アダプター

P

・・・ パワーユニット等
役割：各機器へ電力を供給する直流電源装置

FL

・・・ フラッシュライト等
役割：異常発生時に点滅する装置

C

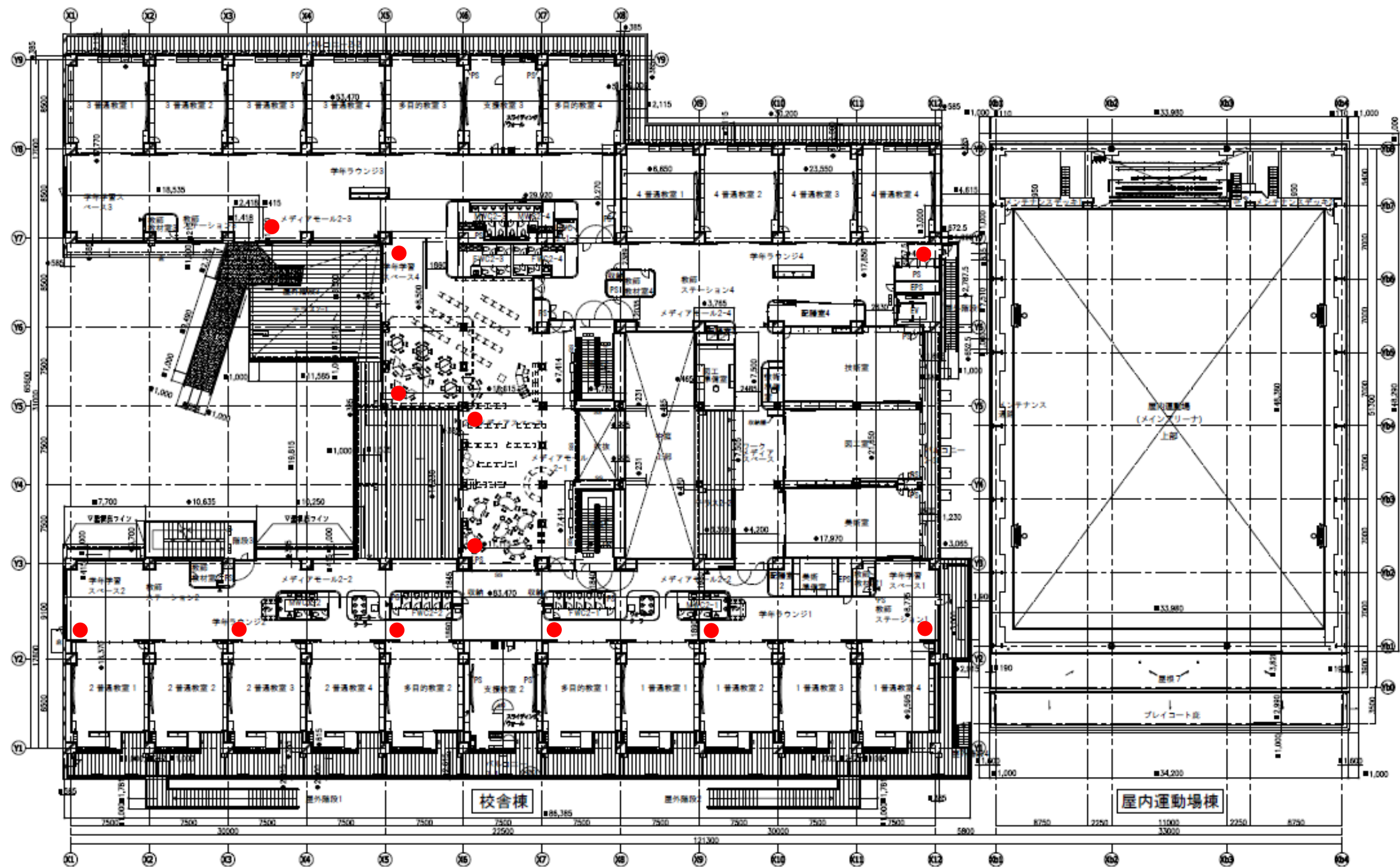
・・・ カードリーダー等
役割：カード操作で警戒のセット及び解除操作を行う装置

I

・・・ インターフェース等
役割：センサーLANとの通信を行う装置

MS

・・・ マグネットセンサー等
役割：扉、窓などの開閉場所に取り付け、侵入による不正な開閉を検出するセンサー



凡例



・・・ パッシブセンサー等
役割：人体の発する熱で侵入者を感知するセンサー

CON

・・・ コントローラー等
役割：システムの操作を行う装置

A

・・・ 無線アダプター等
役割：携帯電話網等を用いて通信を二重化する無線通信アダプター

P

・・・ パワーユニット等
役割：各機器へ電力を供給する直流電源装置

FL

・・・ フラッシュライト等
役割：異常発生時に点滅する装置

C

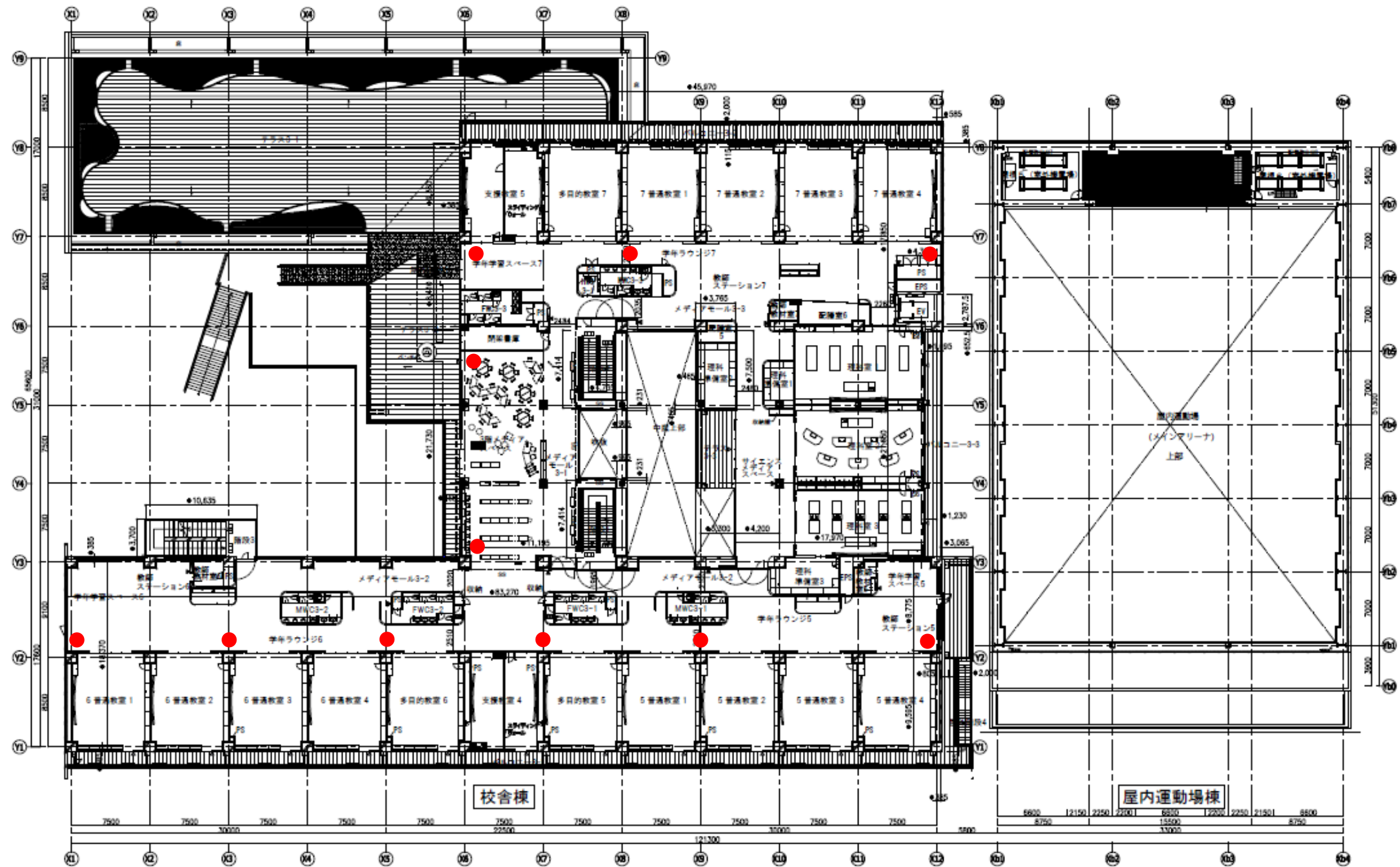
・・・ カードリーダー等
役割：カード操作で警戒のセット及び解除操作を行う装置

I

・・・ インターフェース等
役割：センサーLANとの通信を行う装置

MS

・・・ マグネットセンサー等
役割：扉、窓などの開閉場所に取り付け、侵入による不正な開閉を検出するセンサー



凡例



・・・ パッシブセンサー等

役割：人体の発する熱で侵入者を感知するセンサー

CON

・・・ コントローラー等

役割：システムの操作を行う装置

A

・・・ 無線アダプター等

役割：携帯電話網等を用いて通信を二重化する無線通信アダプター

P

・・・ パワーユニット等

役割：各機器へ電力を供給する直流電源装置

FL

・・・ フラッシュライト等

役割：異常発生時に点滅する装置

C

・・・ カードリーダー等

役割：カード操作で警戒のセット及び解除操作を行う装置

I

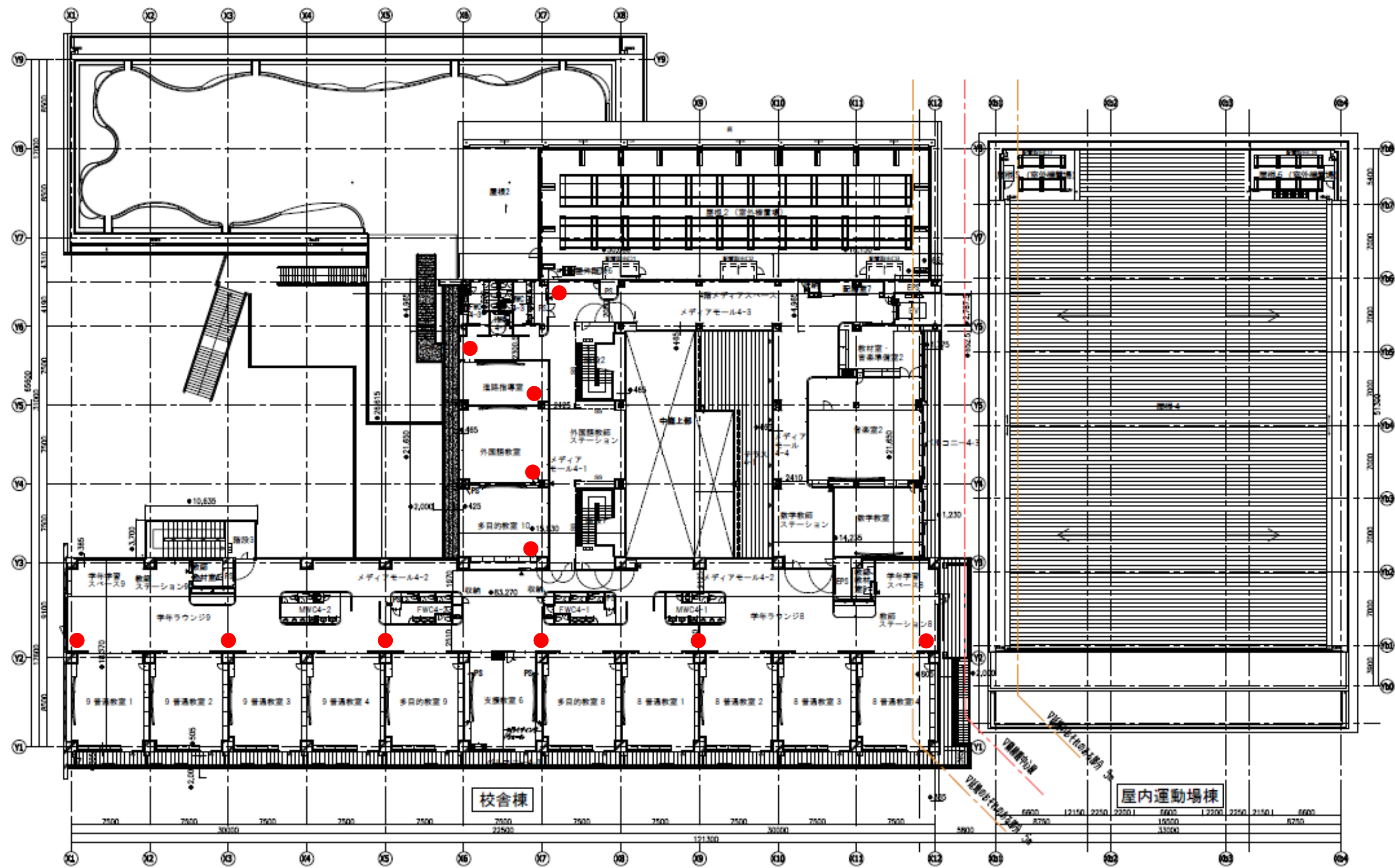
・・・ インターフェース等

役割：センサーLANとの通信を行う装置

MS

・・・ マグネットセンサー等

役割：扉、窓などの開閉場所に取り付け、侵入による不正な開閉を検出するセンサー



凡例



・・・ パッシブセンサー等
役割：人体の発する熱で侵入者を感知するセンサー

CON

・・・ コントローラー等
役割：システムの操作を行う装置

A

・・・ 無線アダプター等
役割：携帯電話網等を用いて通信を二重化する無線通信アダプター

P

・・・ パワーユニット等
役割：各機器へ電力を供給する直流電源装置

FL

・・・ フラッシュライト等
役割：異常発生時に点滅する装置

C

・・・ カードリーダー等
役割：カード操作で警戒のセット及び解除操作を行う装置

I

・・・ インターフェース等
役割：センサーLANとの通信を行う装置

MS

・・・ マグネットセンサー等
役割：扉、窓などの開閉場所に取り付け、侵入による不正な開閉を検出するセンサー